

VIII-3 病院事業

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県西宮市 中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	民間企業出身 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	ド訓方	救 臨 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
484,357	19,375	非該当	7：1	

※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

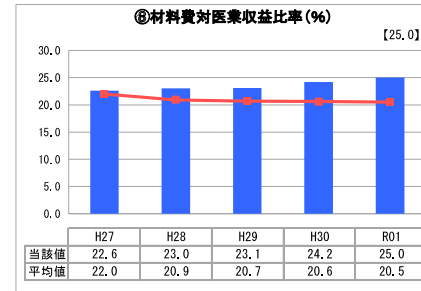
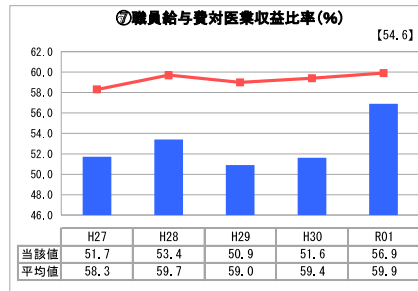
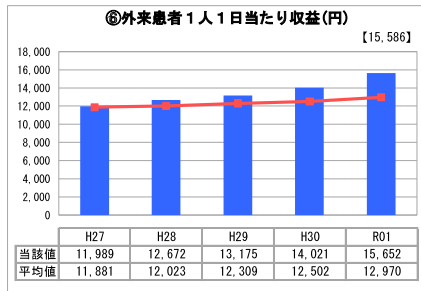
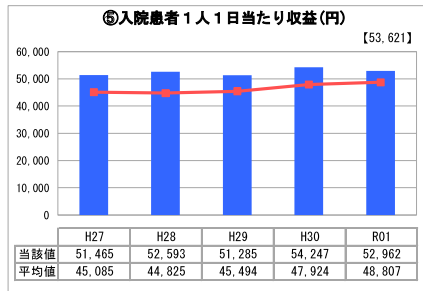
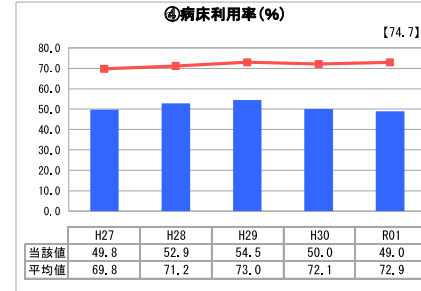
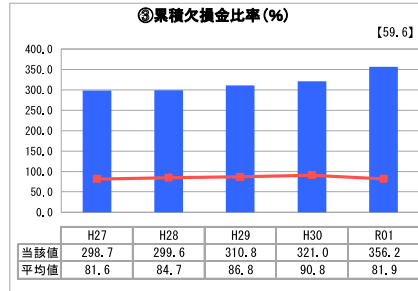
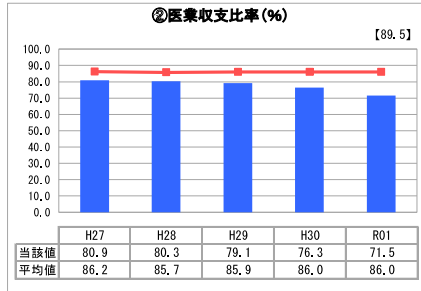
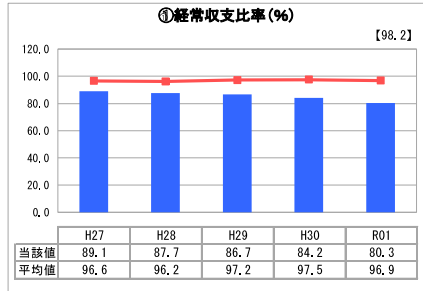
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
257	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	257
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
193	-	193

グラフ凡例

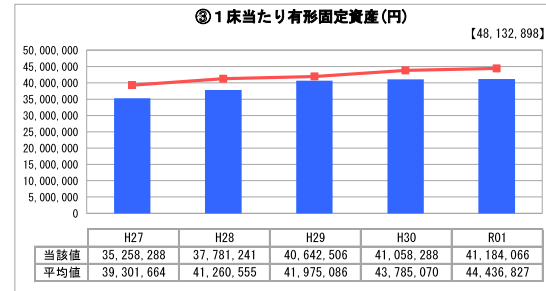
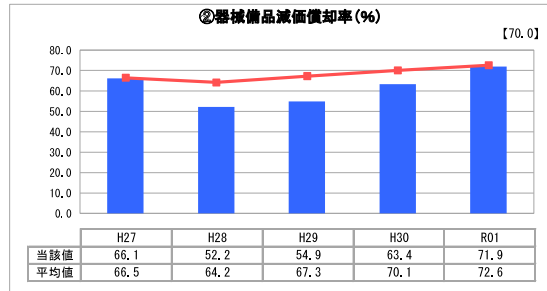
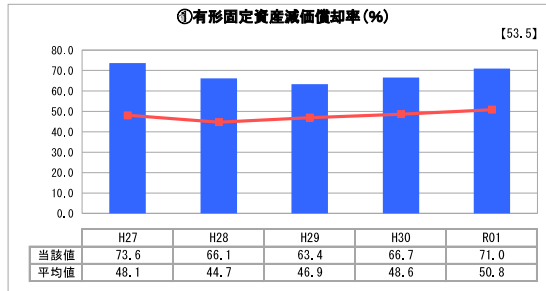
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

詳細・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-

I 地域において担っている役割

- ・がん医療を軸とする高度な医療を提供する地域の中核病院としての役割を果たしている。
- ・小児救急を含む2次救急を中心に病院群輪番制の下、民間医療機関などとの協力により市内の救急医療の一翼を担っている。
- ・地域の医療機関などとの連携を強化し、地域完結型医療の構築に向けて、中心的な役割を果たしている。なお、令和元年6月に兵庫県知事より「地域医療支援病院」の承認を受けた。
- ・大規模災害時においても継続して医療の提供ができるよう、院内の体制の整備を図るとともに、他の医療機関や関係団体との連携強化に努めている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当院では、より安全で質の高い医療を提供するために、医療スタッフの確保に努めるとともに、医療機器の更新・整備を図ってきた。特に平成27～30年度にかけて、放射線治療機器（リニアック）や手術支援ロボット（ダヴィンチ）などの高度医療機器を整備した結果、病床利用率が増加し、入院・外来ともに患者1人当たりの収益は増加傾向にあった。しかしながら、病床改修の実施（平成30年度）や、医師の異動に伴う診療科の体制変更（令和元年度）などに伴い、近年では病床利用率が減少傾向にある。また、こうした医療機器の更新・整備や施設改修などの実施に伴い、近年、多額の減価償却費が発生し、経常収支比率及び医業収支比率の改善には至っておらず、高額な抗がん剤の活用や、一般的に材料費が高いといわれる循環器系疾患の診療強化を図ったことにより、材料費対医業収益比率も増加傾向にある。

2. 老朽化の状況について

当院は建築後40年以上が経過しており、建物は老朽化している。そのため、平成28～30年度にかけて耐震化工事や外装・エントランス改修工事、病棟改修工事を行ってきた結果、有形固定資産減価償却率は減少傾向にあった。しかし、今後は統合新病院の開院を控える中、現病院については建物機能の維持・補修を中心に行うこととなるため、有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率はともに増加していくと考えられる。

全体総括

当院は、県立西宮病院との統合新病院の開院（令和7年度予定）に伴い、閉院することとなる。そのため、平成28～30年度にかけて耐震化工事や外装・エントランス改修工事、病棟改修工事を行ってきた結果、有形固定資産減価償却率は減少傾向にあった。しかし、今後は統合新病院の開院を控える中、現病院については建物機能の維持・補修を中心に行うこととなるため、有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率はともに増加していくと考えられる。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県芦屋市 芦屋病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	ド訓	救 臨 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
95,775	17,045	非該当	7：1	

※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

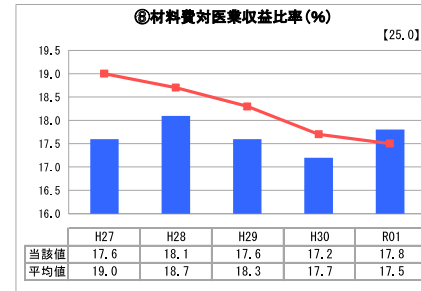
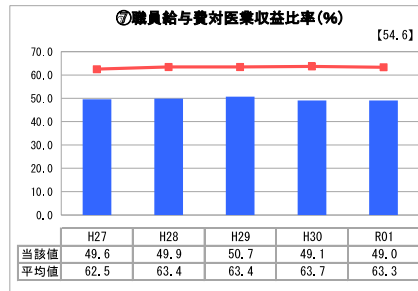
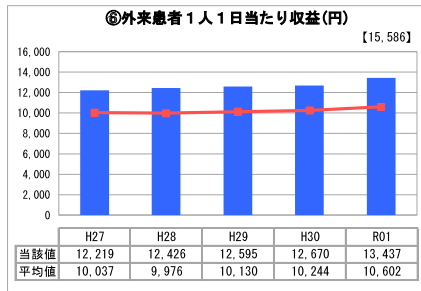
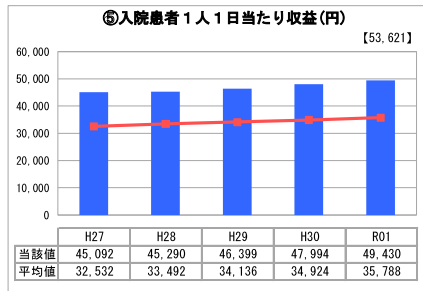
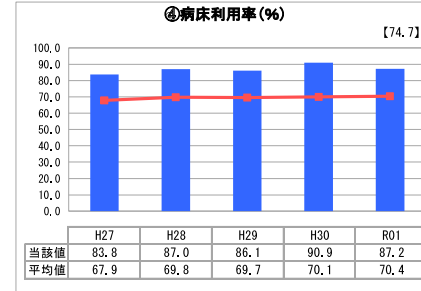
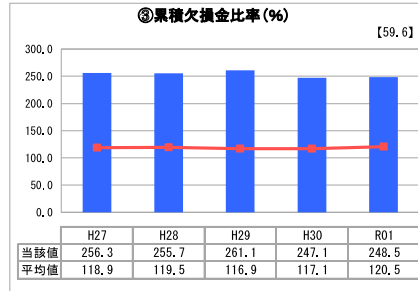
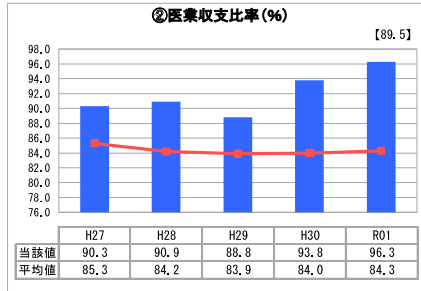
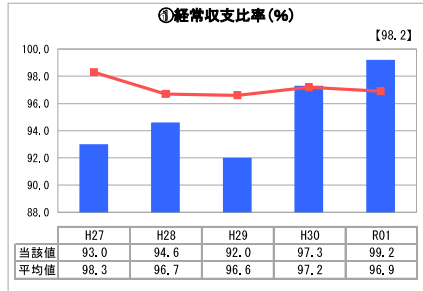
※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
199	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	199
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
199	-	199

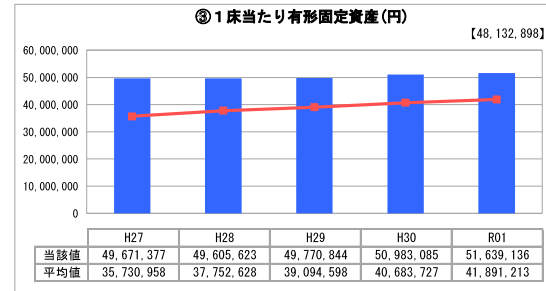
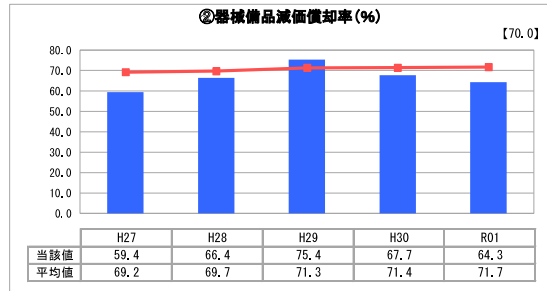
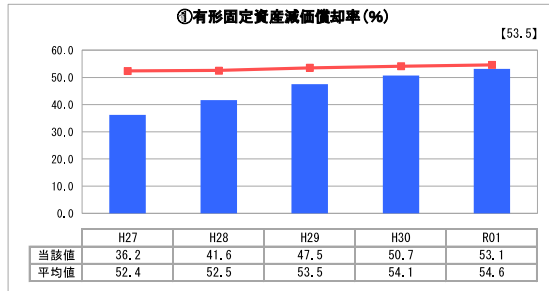
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

詳細・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は市民の健康保持に必要な医療を提供する市の中核医療機関として、地域の診療所等との役割分担と連携により、救急医療を含め診療体制の充実を図っている。

特に今後も増加が見込まれるがん診療への取組（緩和ケア含む）、認知症併患者への対応、心不全患者への対応、各種検診の推進に努めている。さらに、地域の後方支援病院として、在宅患者急変時の受入医療機関としての役割を果たしており、療養後は住み慣れた自宅へ早期に復帰できるように在宅復帰支援への取組にも注力している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率・医業収支比率とも、昨年度から上昇し、全国平均・類似病院比率を上回りました。
- ・病床利用率が昨年度より微減であったものの、入院単価・外来単価が上昇したことによるものです。
- ・令和元年度は「入退院支援センター」を開設するなど、過去からの改革の取組が成果となって表れてきたものと分析しています。
- ・一方で、累積欠損金比率は依然として高比率であり、継続的な改革の取組を実践することで、当該比率の減少が求められる状況です。

2. 老朽化の状況について

平成24年度の新病棟の改築工事により、有形固定資産減価償却率は、全国平均・類似病院よりも低い水準です。

器械備品減価償却率については、昨年度のMRI装置等の更新に引き続き、令和元年度においてもCT撮影装置の更新等の高額医療機器の更新を行ったことから、有形固定資産減価償却率と同様に、全国平均・類似病院よりも低い水準となりました。

全体総括

新改革プランに掲げる目標数値の達成に向けて取り組んできた結果、各指標とも段階的に改善してきており、経常収支比率100%までとわずかとなっています。

これまでの取組を継続していくことに加えて、外科系手術の増加等による診療単価の増加を図るとともに、材料費や医療機器の購入費等の削減に努めます。

また、病院はマンパワーが支える事業であることから、安全で良質な医療を継続的に提供できるよう、医師・看護師をはじめとする医療スタッフの確保に努め、引き続き、市の中核医療機関としての役割を果たしてまいります。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県伊丹市 伊丹病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	31	対象	ド透I未訓方	救臨が地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
203,539	29,295	非該当	7：1	

※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

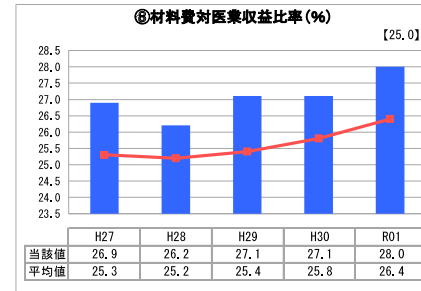
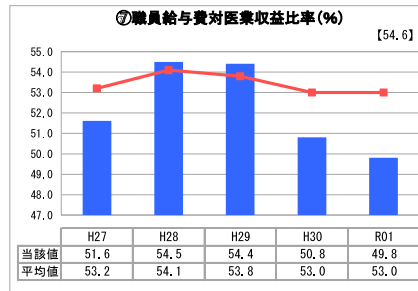
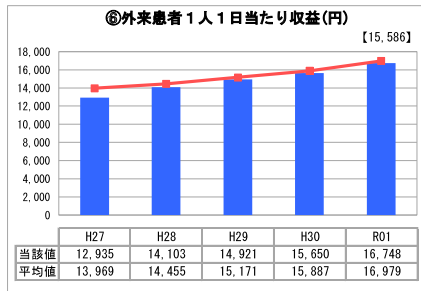
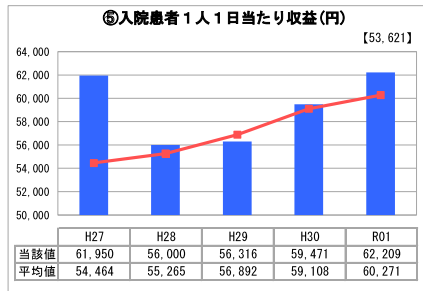
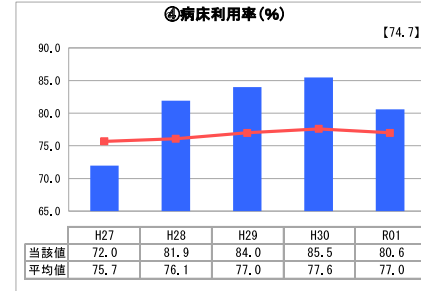
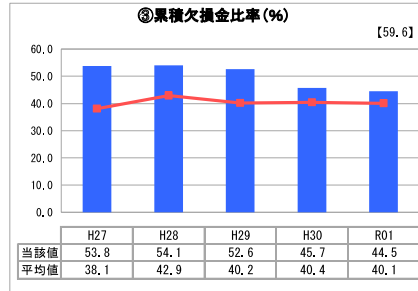
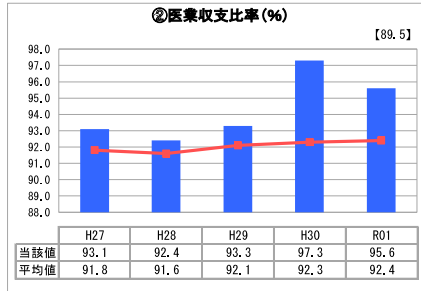
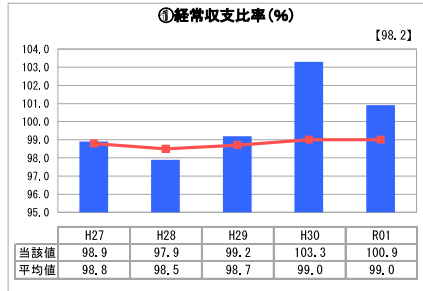
※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
414	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	414
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
402	-	402

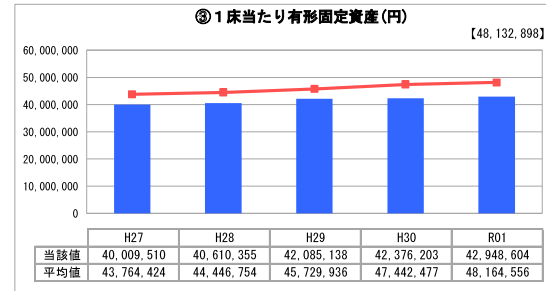
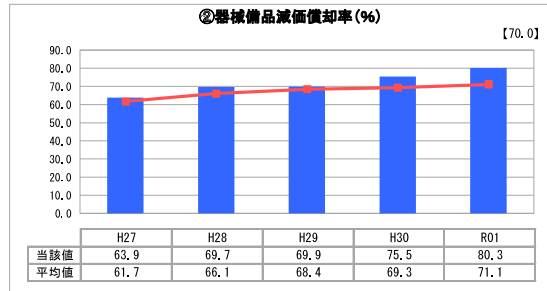
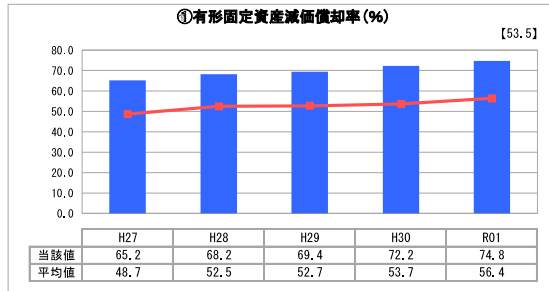
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

詳細・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

市立伊丹病院は公立病院として地域に必要とされる急性期医療の提供に努め、市民の生命と健康を守ってきた。地域医療支援病院として地域の診療所からの紹介患者を受け入れると共に、救急病院として急性期患者の受け入れを中心に阪神北準圏域における伊丹市内の救急車の受け入れについて基幹的役割を担っている。

また、日本病院機能評価機構の認定病院（3rd Ver.1.1）を取得し、臨床研修における臨床研修医指定病院として、地域における医療の質の向上や、完結率の向上、医師の研修体制の充実を図ってきている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度は入院期間の適正化等により患者1人1日当たりの収益増となり、入院及び外来患者数は減少したものの前年度より引き続き黒字となった。

しかしながら、医業収支比率は100%を下回る状況は依然として続いており累積欠損金比率も通算しているが、なお40%を超える状態が続いている。

新型コロナウイルスによる減収の影響を最小限に留め、地域で求められる医療を提供するための診療体制の確保に努め、持続可能な経営ができるよう取り組む。

2. 老朽化の状況について

当院の建物は昭和58年に建てられたもので、特に設備の老朽化が著しく進んでいる。そのため年次計画に基づく計画保全を実施しているが、経年劣化により想定外の故障・漏水等が発生している。

また、高度急性期病床や回復期病床の不足などの地域医療の現状があることから、今後は地域医療構想における役割を果たすため、地域の基幹病院との統合再編を踏まえ、現伊丹病院の敷地を活用し、統合再編基幹病院として建て替えを行う方向で進めていく。

全体総括

近年、施設の老朽化が進み、医療技術の進歩に沿った機器の整備に伴わず、それを一つの要因として医師の確保が困難とされる中で高度な医療技術が必要とする心血管疾患及び脳血管疾患等の患者の多くが、高度急性期病院が集中する阪神南圏域など市外の医療機関で入院されている。令和元年度において「市立伊丹病院と近畿中央病院の統合再編に係る基本方針」が策定され、地域医療体制が抱える課題に対応するためには両院の統合再編が必要であると判断するに至った。今後は2025年中の閉院を目指し統合再編基幹病院の整備に必要な設計業務や建設工事について計画的に進めることで、安定的・継続的に質の高い医療提供体制を構築していく。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県相生市 相生市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	-	ド訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
29,215	3,424	第2種該当	10:1	

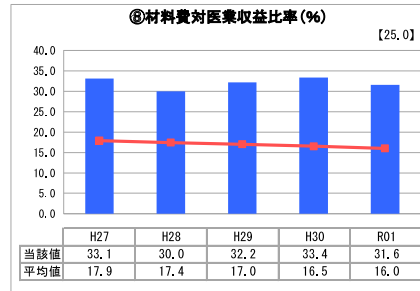
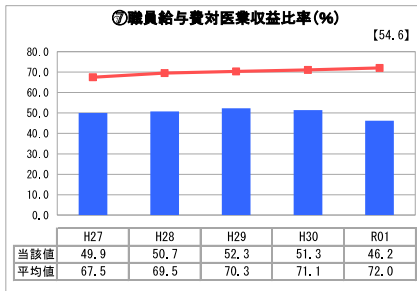
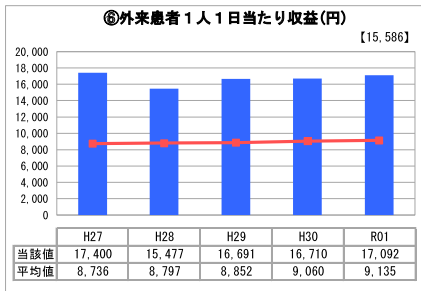
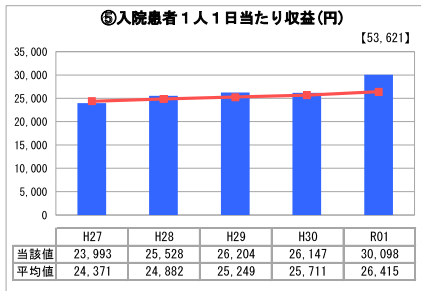
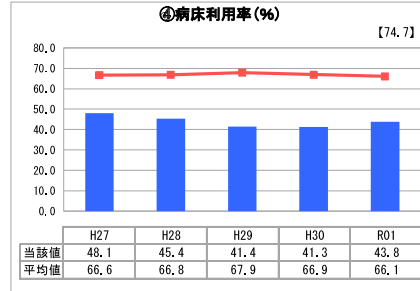
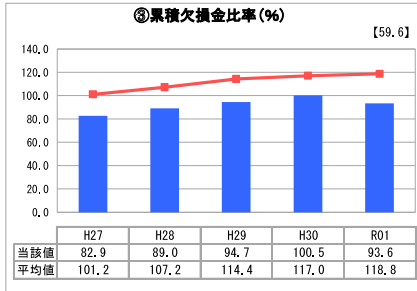
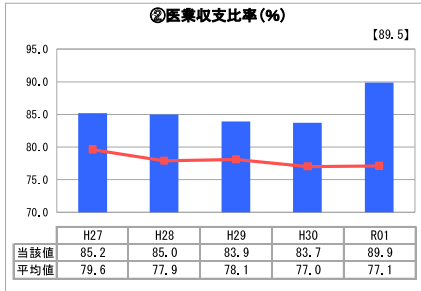
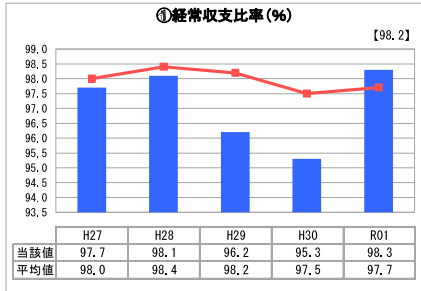
※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

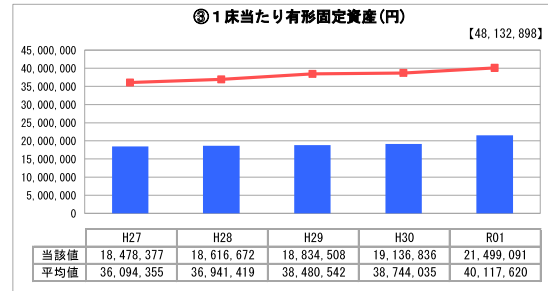
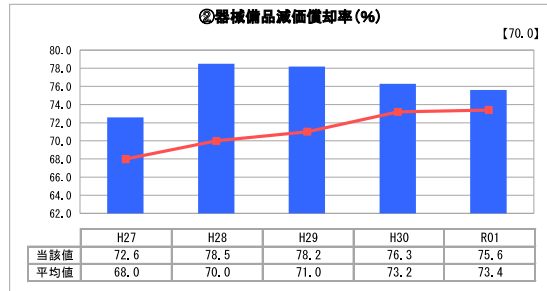
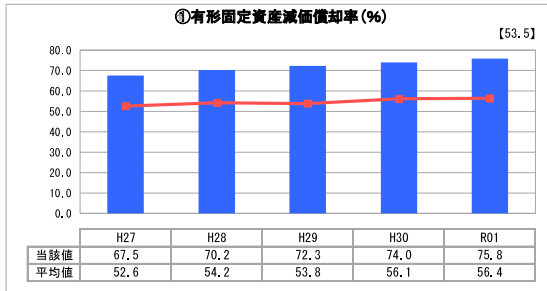
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
55	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	55
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
35	-	35

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

詳細・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

地域に密着した医療提供ができる病院として、軽症急性期、亜急性期医療を行うとともに、訪問診療、訪問看護等の在宅医療等にも重点を置き高齢者が安心して生活できる役割を担う。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

費用は徹底した経費抑制、人件費管理を行い、収益は、令和元年11月より、地域包括ケア病床を導入し増収傾向であるため経常収支比率、医業収支比率が他団体と比べ高くなっている。
病床利用率は、他団体と比べ低い数値となっているが、稼働病床ベースで算出すると73.3%とである。
職員給与と費対比率が低い状態であるが、常勤医師が2名であること看護師の入れ替わりが多いことが要因である。
外来患者一人当たり収益、材料費対医業収支比率が高い数値であるが、当院が内科系疾患患者が多く長期処方が多いことが影響している。

2. 老朽化の状況について

当院は昭和58年築であり、有形固定資産減価償却率及び機器備品減価償却率が高い水準で推移している。
医療機器については、計画的に更新を行っているが、施設については、空調設備、電気設備等の大規模改修が必要となるため経営状況及び市からの繰入金を調整し改修を進める。

全体総括

地域の医療ニーズや地域医療構想を勘案し、令和元年11月より急性期病床35床のうち28床を地域包括ケア病床へ移行した。病床の転換により、経営状況の改善が図れた。
今後も収支状況の把握・改善をすすめるとともに不足している医師・看護師の確保をおこなひ地域医療の確保に務める。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県赤穂市 赤穂市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	ド透訓方	救臨が感へ災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
47,391	32,911	非該当	7：1	

※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

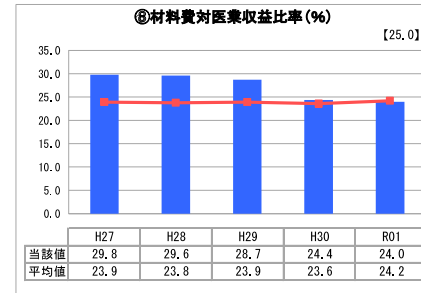
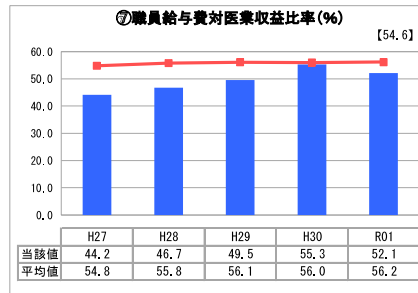
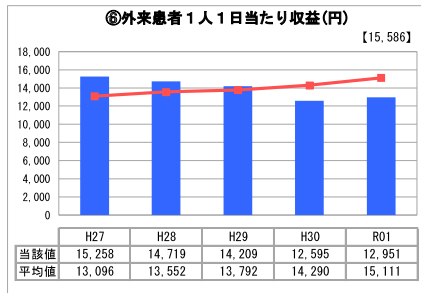
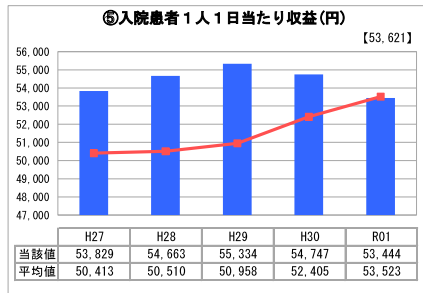
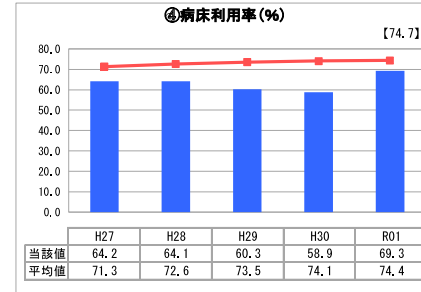
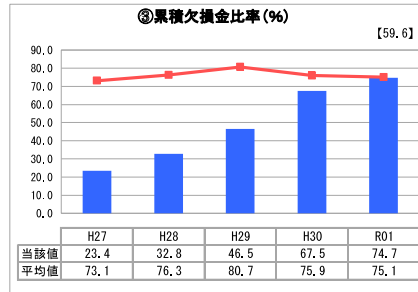
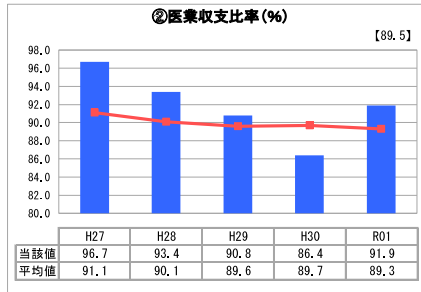
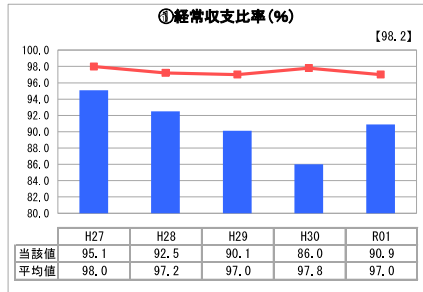
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
356	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	360
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
356	-	356

グラフ凡例

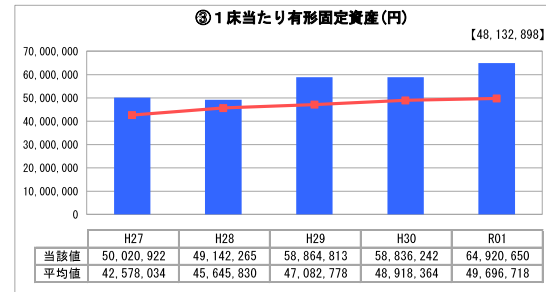
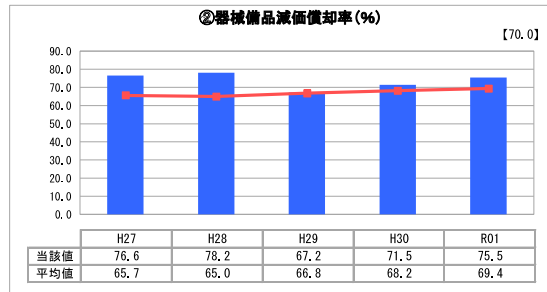
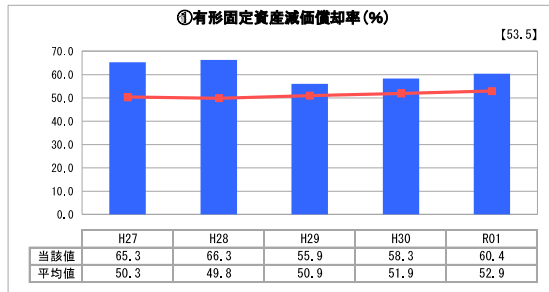
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

詳細・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-

I 地域において担っている役割

当院は赤穂市のみならず西播磨域の中核病院として23診療科を擁し、小児を含めた二次救急医療や地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、地域医療支援拠点病院などの重要な役割を担っています。また、隣接する岡山県東部地域からの利用も多くみられます。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度は、常勤医師の増員や集患活動等収入確保の取り組みなどにより、医業収支比率、経常収支比率及び病床利用率の悪化に歯止めがかり改善が見られました。経常収支比率及び病床利用率は平均を下回る状態が続いています。また、患者1人1日あたりの収益が減少傾向にあることなどから、純損失の発生が続き、累積欠損金比率は引き続き上昇しています。

2. 老朽化の状況について

当院は、平成10年2月に新築移転してから20年を超過し、建物や設備に不具合が目立ってきているため、今後計画的な更新や維持修繕を行っていきます。医療機器については、計画的な更新に加え、進化する医療に対応すべく新規医療器械についても費用対効果を考慮し導入を行っています。また、医療の安全安心な提供のため、機器ごとに保守契約を締結し適切な管理を行っています。平成30年3月に二期構想による増改築事業が完了し有形固定資産が増加しています。

全体総括

これまで、常勤医師が不在若しくは不足していた診療科のうち一部診療科において、常勤医師が確保できたことから、更なる診療提供体制の回復に向けその他の診療科についても引き続き医師・看護師等医療従事者の確保に努めます。また、地域包括ケア病棟を有効に活用するなど、病床利用率の向上に努めます。経営健全化・安定化を図るため、「患者様へ選ばれたる病院」を目指すとともに、効率性の効果的な経営に努めます。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県西脇市 西脇病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	ド透I未訓方	救臨がへ災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
40,412	23,674	非該当	7：1	

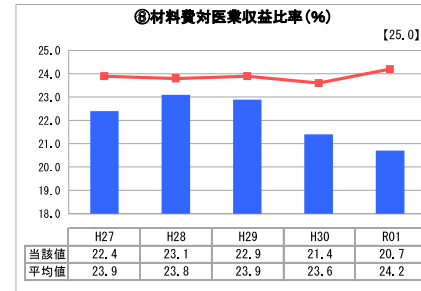
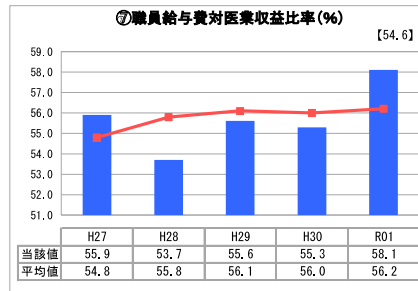
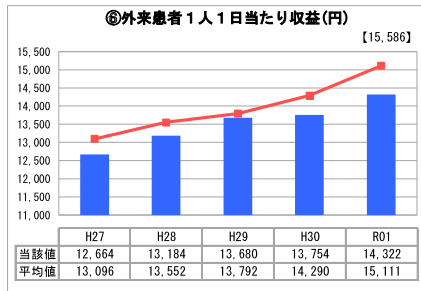
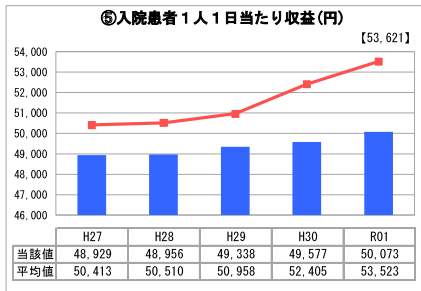
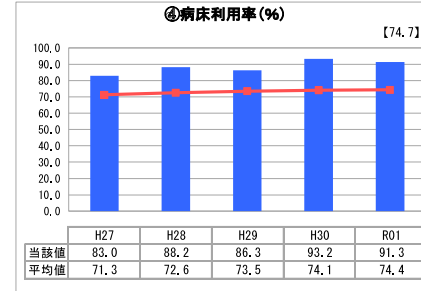
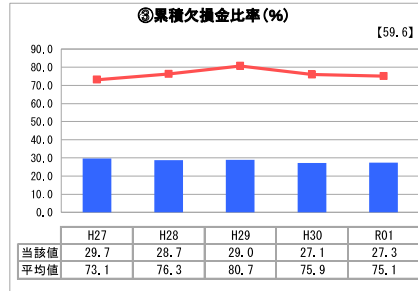
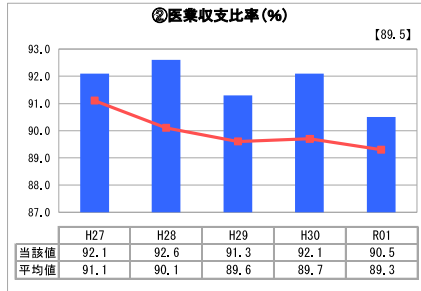
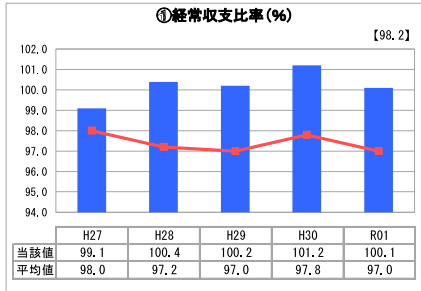
※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

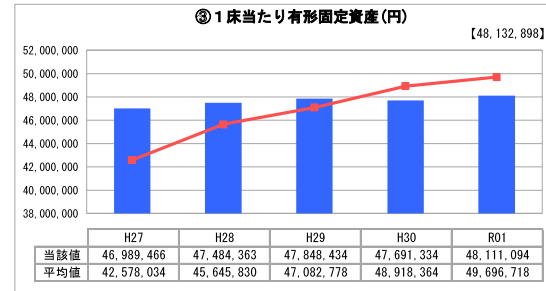
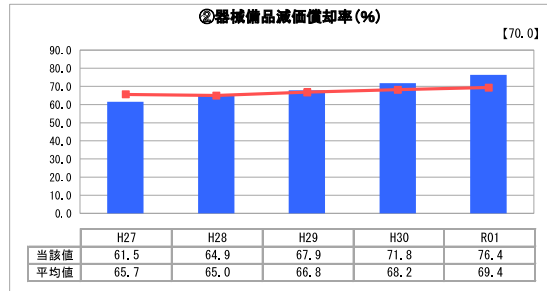
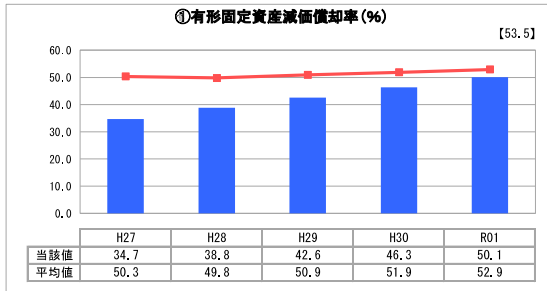
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
320	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	320
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
320	-	320

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
—	類似病院平均値（平均値）	
[]	令和元年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

詳細・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

兵庫県保健医療計画が示す5疾病5事業及び在宅医療のうち4疾病（がん、脳卒中、糖尿病、精神疾患のうち認知症）と3事業（救急医療、災害医療、へき地医療）について指定を受け、北播磨医療圏における専門医療の提供や診療拠点の機能を担っています。

また、地域医療支援病院として、在宅医療の推進強化を担っています。

新型コロナウイルス感染症への対応では、西脇市多可郡医師会の御協力を得て、「発熱トリアージ外来」を開設し、診療を開始しています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

患者数の減少等に伴い、医業収支比率も減少しています。しかし、患者1人1日当たりの収益については増加傾向です。

また、一般会計からの繰入金を加味した経常収支比率は100%前後で推移しています。

病床利用率は、91.3%となり、前年度よりも1.9ポイント下回りました。

今後におきましても、充実した医療の提供及び費用の抑制に努め、地域のニーズに応えるべく医療体制の充実を図り、地域完結型の医療を目指していきます。

2. 老朽化の状況について

平成21年3月に新病院が完成し、グランドオープンから約10年が経過しています。

有形固定資産減価償却率は、類似病院平均より低いですが、器械備品減価償却率は平均を超えており、医療機器等の更新の需要が高まっています。

今後、医療情勢に留意しながら、計画的に医療機器等を更新していきます。

全体総括

北播磨医療圏における北部の拠点病院としての役割が求められています。その役割を果たすため、人材を確保し、適切な機器整備を行い、経営基盤の確立を目指します。

また、地域包括ケアシステムを構築し、医療と介護の連携を進め、DPC医療制度により、効率的で効果的な医療サービスの提供を行います。新規入院患者数の増加を図るとともに、効率的に病床管理を行い、収益の確保に努めます。

今後も、新型コロナウイルス感染症への対応も継続して取り組み、医療介護福祉制度改革などの動向に留意しながら、健全な経営を目指します。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県宝塚市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	30	対象	透し訓方	救 臨 災 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
234,044	31,903	非該当	7：1	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
436	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	436
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
389	-	389

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 令和元年度全国平均

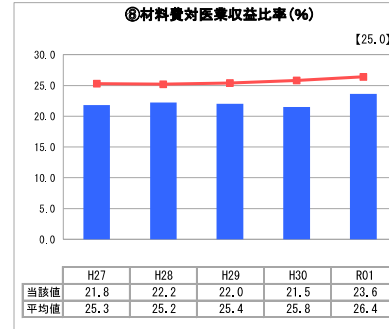
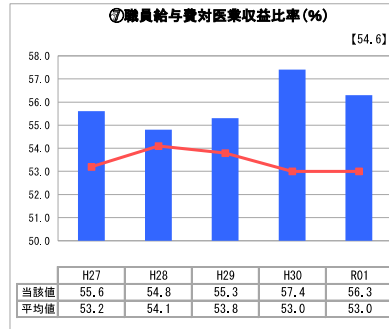
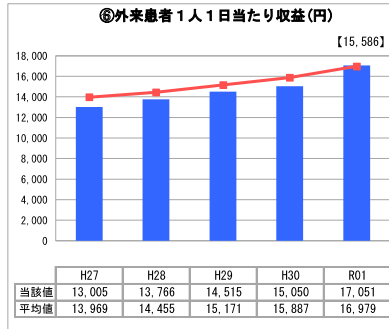
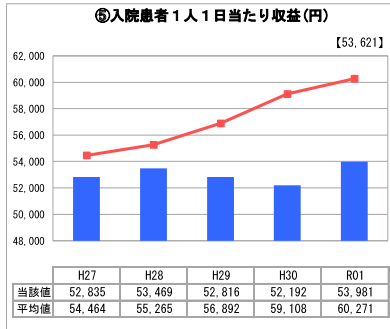
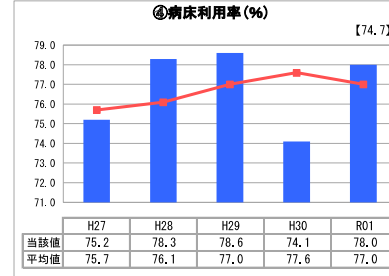
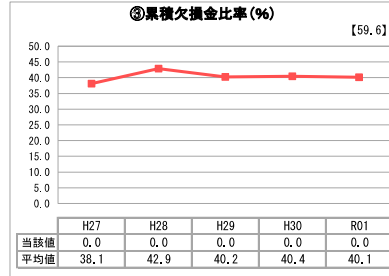
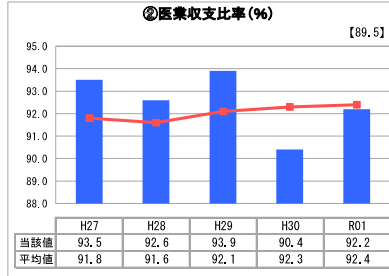
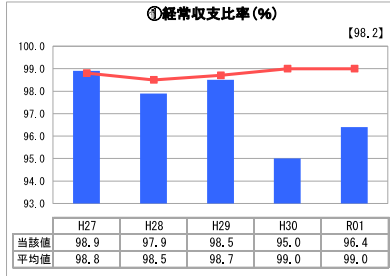
※ 1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

※ 2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

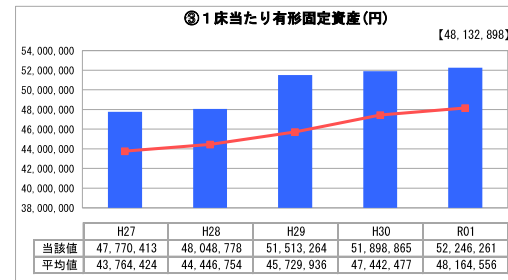
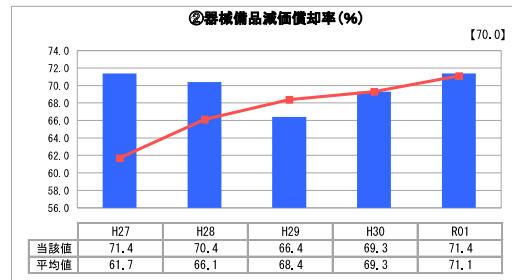
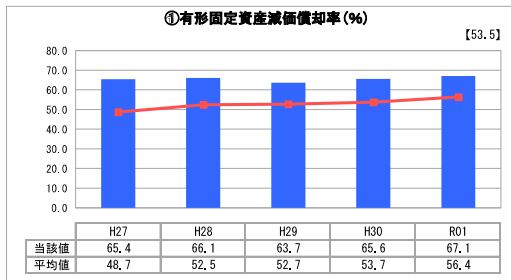
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

少子高齢化が進行するなか、市民が安心して暮らしていけるよう良質な急性期医療を提供し、救急受入体制とがん診療体制を提供しています。また、地域医療支援病院として地域の医療機関と連携して医療資源を効率的に活用するとともに、5疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）に対する医療需要の増加に対応しています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

これまで① 医業収支比率、② 累積欠損金比率、③ 病床利用率は、類似病院平均値を上回っていましたが、平成30年度は、医師の大量退職等の影響で、医業収益が減少したことから、これらの指標も含め各種比率が低下、悪化しました。しかし令和元年度は医師の確保に努め、入院収益、外来収益が増加した結果、経常収支比率が改善しました。

当院は、内科系の診療科が多いため④ 材料費対医業収益比率が類似病院平均値よりも低くなっています。地域医療支援病院として地域の医療機関と連携して医療資源を効率的に活用することで各種比率を向上し、① 経常収支比率100%以上を目指します。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、S59年に竣工した病院開設当時の建物の減価償却が進んでいるため、平均よりも高くなっていると考えられます。近年竣工したがんセンターが加わり、平成29年度から一時的に比率は低下しています。

器械備品減価償却率は、老朽化した器械備品も多いため高くなっていると考えられますが、今後も計画的な更新を図っていく必要があります。

1床当たり有形固定資産が平均より高いのは、敷地面積及び床面積が類似病院より大きいこと、また、許可病床が過去の480床から減少していることが要因であると考えられます。

全体総括

地域医療支援病院としての役割を果たし、必要な医師の確保及び計画的に施設・器械備品を更新していくことで、経営の健全性・効率性の改善を目指します。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県高砂市 高砂市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	21	対象	ド透I訓	救 臨 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
90,462	26,659	非該当	7：1	

※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
290	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	290
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
196	-	196

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

詳細・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

急性期医療を担いつつ、回復期医療（地域包括ケア病床）、慢性期（維持透析）、ターミナル医療（緩和ケア病床）も展開できる機能を有することで圏域での役割を果たしている。

地域医療支援病院として、医師会との連携強化やオープンカンファレンスを実施している。

また、地域包括ケアシステムにおける地域の中核病院として、「医療分野」だけでなく「介護分野」との橋渡しを担うことで、より地域に密着した医療を展開している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

地域包括ケア病床の効率的な運営（在宅療養患者の入院受入・急性期病床からの転床・レスパイト入院等）、救急搬送の受入れ増や紹介患者の受入れ増など収益アップを目的に取り組んでいるが、医療収支比率、経常収支比率共に100%を下回っている。

要因として、入院収益に関しては、近隣病院の影響もあり入院患者数が減少したこと、がん手術件数の大幅な減少など挙げられる。また、外来患者1人1日当たり収益においても、透析関連及び化学療法患者数の減少により、外来診療収入が減少している。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率が示すように、保有資産の使用年数が法定耐用年数に近づいており、老朽化が進んでいる。

今後、改修や更新の費用が増加していくことが考えられる。

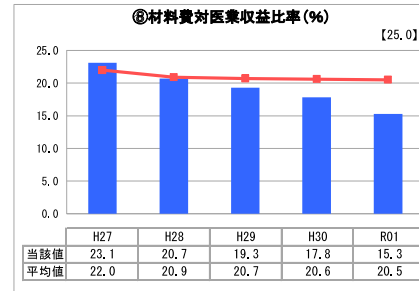
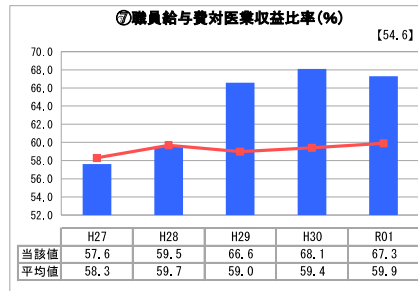
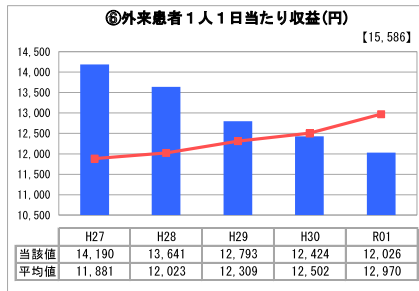
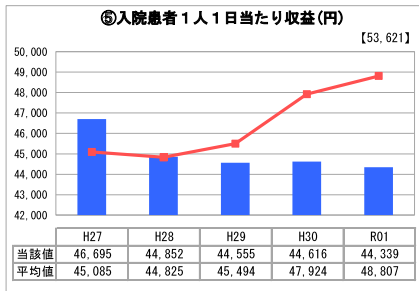
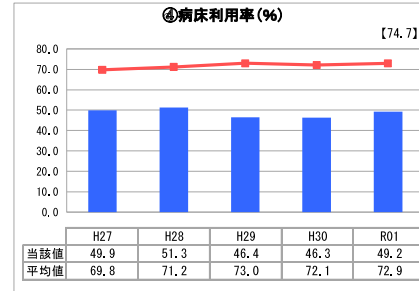
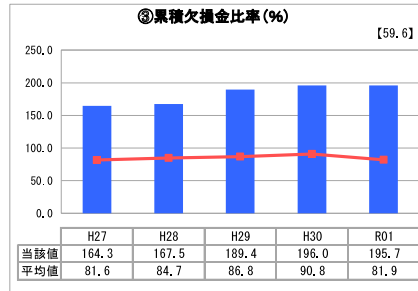
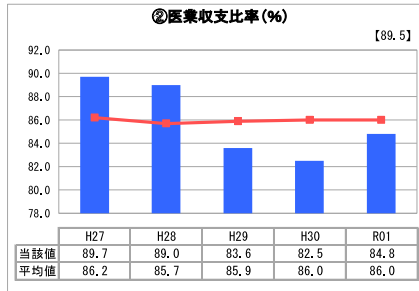
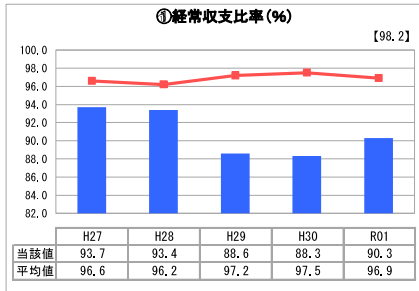
全体総括

収益の改善については、地域包括ケア病床の稼働率向上、緩和ケア病床の安定稼働、日中の救急搬送の受入れ増、医師会からの紹介患者の増、近隣病院との強固な連携に努め収益確保を図る。

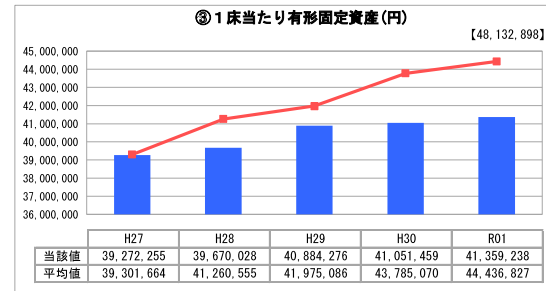
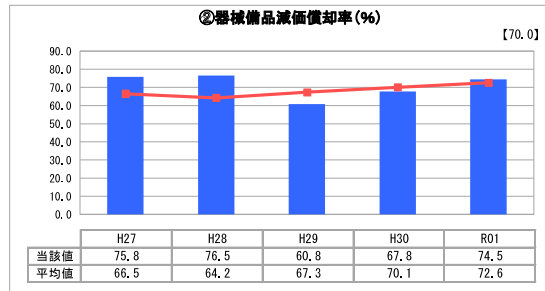
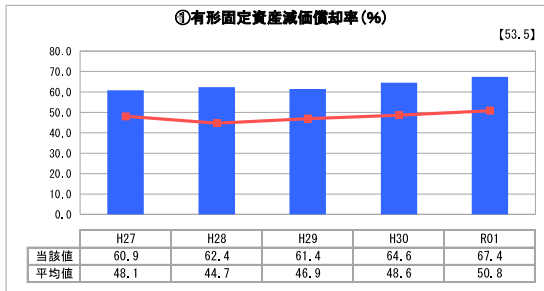
また、費用面では職員の適正配置による人件費の減、更なる委託化の推進など、経費削減に努める。

今後、設備、器械備品の修繕、更新費用が増加していくことが考えられるため、耐用年数を踏まえた計画的な更新を行う。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県川西市 川西病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	15	対象	-	救 臨 地 輪
人口(人)	建物面積(mf)	不採算地区病院	看護配置	
157,432	14,540	非該当	10:1	

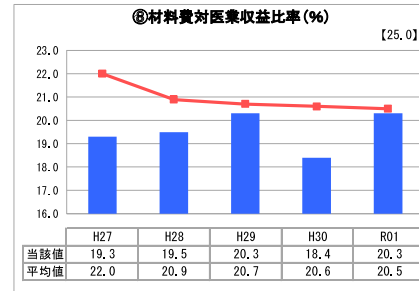
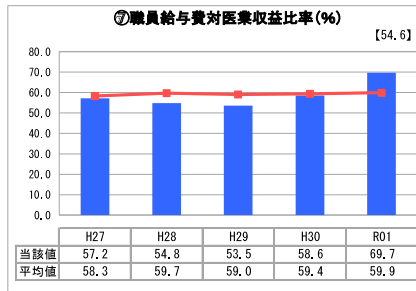
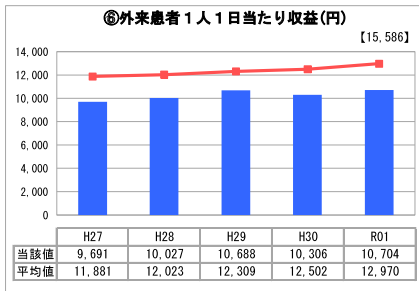
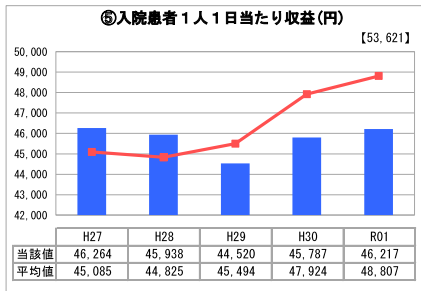
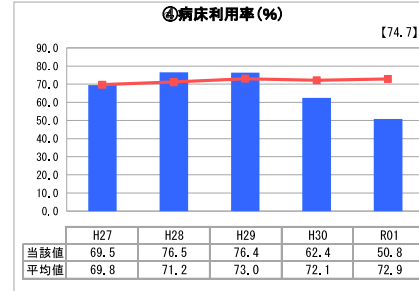
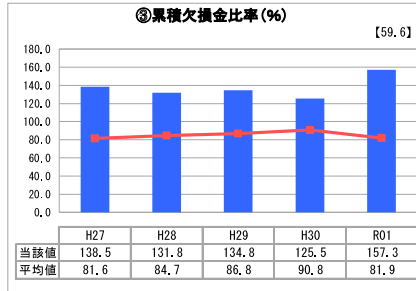
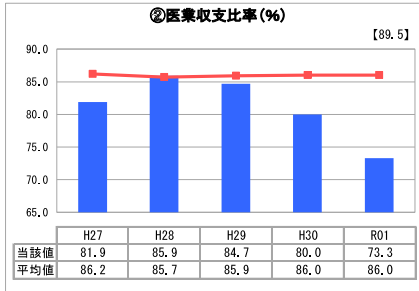
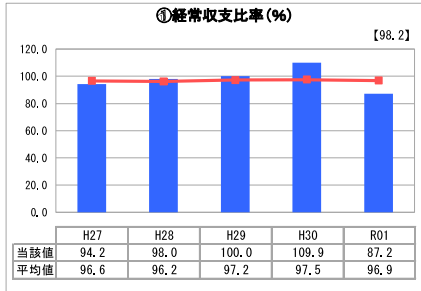
※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン(放射線)診療

※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

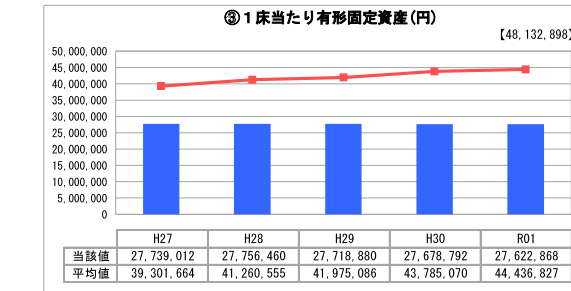
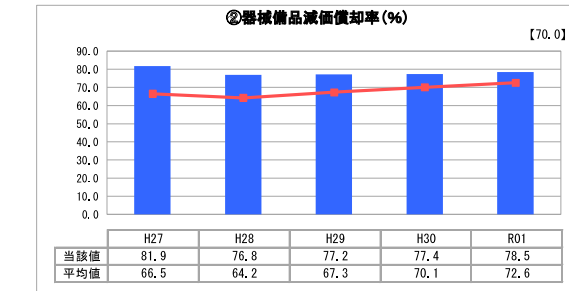
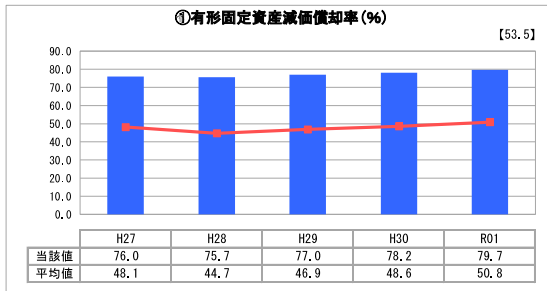
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
250	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	250
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
234	-	234

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

詳細・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	令和元年度

I 地域において担っている役割

市民の命と健康を守り、安心で安全な医療を提供していくために、小児・周産期・救急医療などの政策医療を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度より指定管理者制度を導入した。医療法人の経営ノウハウなどを活用し、より質の高い医療の提供と効率的な運営を目指している。
令和元年度においては、医業収支比率は73.3%で前年度と比較し、6.7ポイント悪化した。この要因は、指定管理者制度移行一年目であることや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、入院患者数減少(昨年度比14.7%減)、外来患者数減少(前年度比12.5%減)等が影響している。
指定管理者の当初の収支計画より、厳しい経営状況となったが、市から指定管理者に対する追加支援や新たな経費負担は行っていない。

2. 老朽化の状況について

病院開設以来35年以上が経過し、施設の法定耐用年数である39年に近づきつつあるほか、耐用年数を経過した医療機器が多くあるが、資金不足の発生等により、機器の更新は進んでいないことから、有形固定資産・器械備品減価償却率ともに、類似病院平均値と比較し、高い数値となっている状況である。
現在、令和4年9月の開院に向け、川西市立総合医療センター整備事業を進めている。

全体総括

令和元年度から、市立川西病院の指定管理者による管理運営が始まっており、指定管理者である医療法人協和会と共に、急性期病院として、安全・安心で良質な医療を提供し、地域から信頼される病院を目指す。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県三田市 三田市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	民間企業出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	19	対象	ド透未訓ガ	救臨地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
111,934	22,928	非該当	7：1	

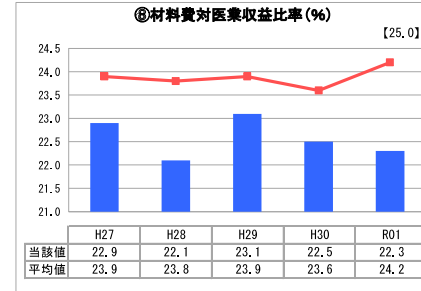
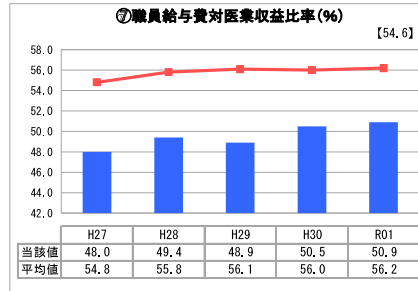
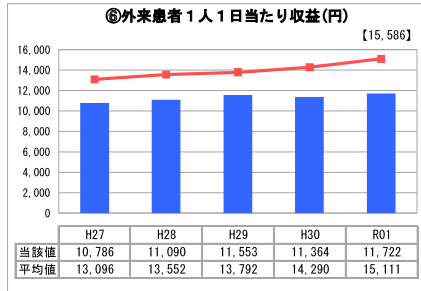
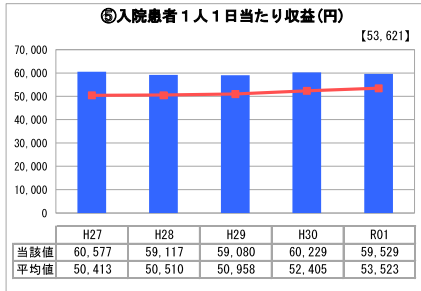
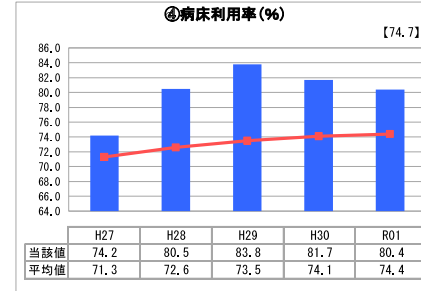
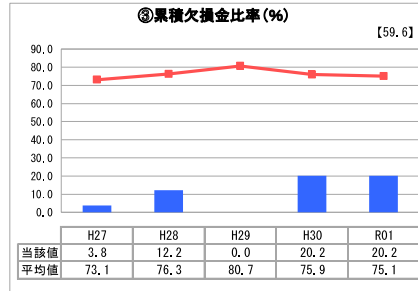
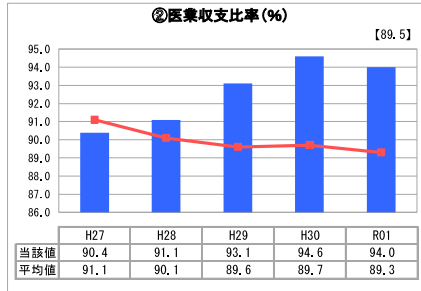
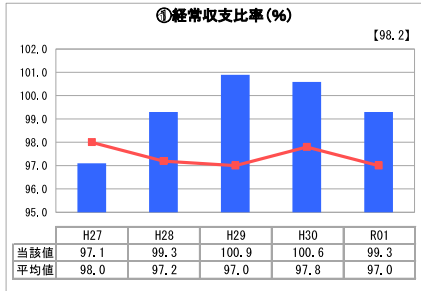
※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

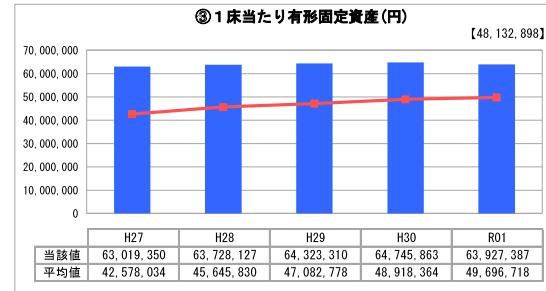
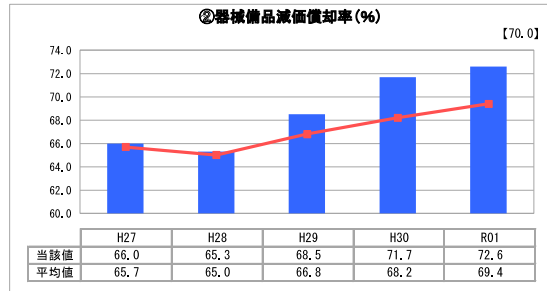
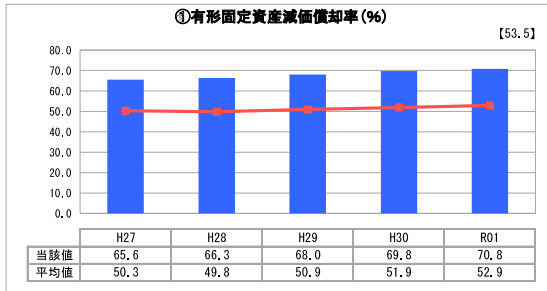
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
300	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	300
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
300	-	300

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
—	類似病院平均値（平均値）	
[]	令和元年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は、地域の中核病院かつ高度な専門医療と救急医療を中心とした急性期病院としての役割を担い、住民に安心・安全な医療提供体制を確保し、地域医療に貢献していくことを目指して、医療の提供・充実に努め、住民の健康維持・増進を図る。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度においては、経営目標に基づき急性期医療体制の充実、地域連携の推進に取り組むとともに、経費等の削減に努めた結果、入院患者数・入院単価等の減少から平成30年度より数値に下落がありますが医業収支比率等の項目は全国平均を上回り、さらに、材料費や経費が減少したため、総収支については3か年連続で黒字を確保している。これは、地域住民へ安心・安全な医療を提供するとともに、健全かつ効率的な経営への努力を行った結果です。

また、令和元年度末の累積欠損金は、総収支の黒字分が減少したものの、およそ16億円という状況です。

2. 老朽化の状況について

当院は、現有施設が既に築25年を経過し、老朽化・狭隘化など多くの問題点や課題を抱えているが、再編ネットワーク化や経営形態の見直しについての検討半ばであるため、良質な医療提供体制確保への最低限の投資にとどめている状況です。

全体総括

平成29年3月に策定した改革プランに基づき、更なる経営改善を図るとともに、継続して安心安全な医療提供体制を確保するために、再編ネットワーク化や経営形態の見直しについての検討を継続する。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。